

暴風雨にぜひ注意ください！

豪雨や台風が多い時期が近づいてきました。平成27年9月関東・東北豪雨での鬼怒川の堤防決壊など、近年では、どこで・いつ・どのような災害が起こっても不思議でない状況となっています。

そこで今回、家庭でできる暴風雨対策などを紹介しますので、ぜひご活用ください。

暴風雨対策について

暴風雨から自身や家族の命を守るためには、個人での暴風雨対策が非常に重要となります。

テレビや新聞で台風の接近などを知ったときには、次のような対策を行いましう。

- ・窓を施錠して、雨戸を閉めてください。必要に応じて、外から板を打ち付けて補強をしてください。
- ・雨戸を閉めたり、窓ガラスが割れたときのガラスの飛散を防ぐために、窓ガラスにテープを貼ってください。
- ・外からの飛来物の飛び込みに備えて、カーテンをひくか、ブラインドをおろしてください。
- ・風で飛ばされそうな物は固定をするか、風の当たらない場所に収納してください。
- ・側溝や排水口を掃除して、水はけを良くしておいてください。



防災対策課では、大雨での浸水害に備え、土嚢を準備しています。大雨で浸水の恐れがある場合には、土嚢の提供を行いますので、防災対策課までご連絡ください。

- ・学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認してください。
- ・避難に備えて、非常持出品(非常食や携帯ラジオなど、リュックサックに入る程度のもので、避難時に持っていけるもの)を準備してください。
- ・危険を感じたとき、避難勧告などが発表されたときには避難行動を開始してください。
- ・テレビ、ラジオ、インターネットを用いて、気象情報に注意を払ってください。

ワイドFMについて

ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送エリアにて、難聴対策や災害対策のために、従来のFM放送の周波数(76メガヘルツ〜90メガヘルツ)に加えて、新たに割り当てられた周波数(90.1メガヘルツ〜95メガヘルツ)を用いてAM放送を行うことです。

現在、和歌山放送では、AM放送を行っています。この周波数の送信所は海の近くや平地にあるものが多く、大規模災害時に送信所が被害を受けると放送ができなくなる可能性があります。

そこで、和歌山県が災害対策のために整備した送信所を利用して、ワイドFM放送を始めました。

詳しくは、和歌山放送ホームページをご確認ください。

※90メガヘルツまでしか受信できないFMラジオで放送を聴くことはできません。

※AM放送はワイドFM放送が始まっても続けられます。

NTTビルに特設公衆電話とWi-Fi設置

災害発生時、NTTビルへ避難をした住民の皆さんの通信手段を確保するため、NTTのご協力により

特設公衆電話とWi-Fi(無線LAN)が設置されました。

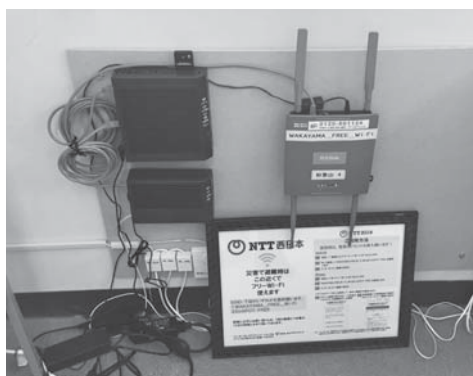
特設公衆電話
発信専用の災害時優先電話が3回線あり、常時使用可能です。



▲特設公衆電話

Wi-Fi(無線LAN)

電源コードをコンセントに差し込むことで、スマートフォンやタブレットなどでインターネット接続が可能となります。



▲Wi-Fi(無線LAN)